

## パネル展示

# 欧州連合(EU)のあゆみ

EUは、長年にわたる拡大と深化を経て現在の形となりました。この展示では、欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)の設立から今にいたるまでのEUのあゆみを振り返ります。

- 1952年 欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)設立(パリ条約発効)。1950年5月9日、フランス外相ロベール・シューマンは、フランスとドイツの石炭・鉄鋼産業を共同管理することを提案。この声明をもとに、1951年4月パリ条約調印、1952年7月発効、ECSCが創設された。毎年5月9日の「ヨーロッパ・デー」の由来はここにある。原加盟国は、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク。ここに石炭と鉄鋼の共通市場が創られた。
- 1958年 欧州経済共同体(EEC)、欧州原子力共同体(EURATOM)設立(ローマ条約発効)。EECは石炭と鉄鋼にとどまらないより広範なモノとサービスの共通市場の構築を目指した。
- 1967年 ECSC、EEC、EURATOMの主要機関統合
- 1968年 関税同盟完成。6か国間の関税が撤廃された。
- 1973年 イギリス、アイルランド、デンマーク加盟(第1次拡大)
- 1979年 欧州議会初の直接選挙実施、欧州通貨制度(EMS)導入
- 1981年 ギリシャ加盟(第2次拡大)
- 1986年 スペイン、ポルトガル加盟(第3次拡大)
- 1987年 「単一欧州議定書」発効。欧州共同体(EC)の域内市場統合を完成させるという目標を定めたもの。
- 1992年 域内市場統合完成

- 1993年 マーストリヒト条約発効。ベルリンの壁崩壊(1989年)以降、欧州の政治的な構図は大きく変化した。これに合わせEEC加盟国は、新しい条約の交渉を行い、1991年12月にオランダのマーストリヒトで欧州理事会により採択、1993年11月に発効した。単一通貨ユーロの段階的導入や共通外交・安全保障政策、域内治安分野での政府間協力などを定め、ここに欧州連合(EU)が設立された。
- 1994年 欧州経済領域(EEA)発足
- 1995年 オーストリア、スウェーデン、フィンランド加盟
- 1999年 経済通貨同盟第3段階への移行(ユーロの導入)、アムステルダム条約発効
- 2002年 ユーロ紙幣・硬貨の流通開始、ECSC条約の失効・ECSC解消
- 2003年 ニース条約発効
- 2004年 ポーランド、チェコ、ハンガリー、エストニア、ラトビア、リトアニア、マルタ、キプロス、スロバキア、スロベニア加盟
- 2007年 ブルガリア、ルーマニア加盟
- 2009年 リスボン条約発効
- 2013年 クロアチア加盟
- 2020年 英国EU離脱



EU加盟国 [Created with mapchart.net]

## 参考文献

- 羽場久美子編. EU(欧州連合)を知るための63章. 明石書店, 2013年, 400p., (エリア・スタディーズ ; 124). 〈展示図書「1.まずはこれを読もう」【3293:160】〉
- パスカル・フォンテーヌ. EUを知るための12章 : 日・EU関係に関する第13章付き. 駐日欧州委員会代表部翻訳加筆編集改訂. 第2版, 駐日欧州委員会代表部, 2009年, 71p. 〈展示図書「同上」【3293:140】〉
- 外務省. “欧州連合(EU) 概況”. 2022-12-15. <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/eu/data.html>, (参照 2023-06-05).